

湖北広域行政事務センター

新一般廃棄物処理施設整備運営事業

脱炭素社会への取組

脱炭素社会への取組はなぜ必要なの？

地球温暖化という言葉をよく聞きます。地球温暖化の原因は、二酸化炭素などの温室効果ガスが増え続けて、地球の表面にとどまり気温が上がることです。このまま温暖化がすすむと、海面が上昇したり、異常気象が発生し、食物への影響や動植物への影響等、健康への被害もでてきます。温暖化を防ぐためには、温室効果ガスの排出を減らすことが必要になってきます。そのために、世界中で、さまざまな取組をされています。私たち日常生活の中でエネルギーの使い方を見直すことで、排出量を減らすことができます。

脱炭素社会への取組をすすめています！

新施設での取組

■ ごみの排出抑制

廃棄物の発生・排出抑制（リデュース）、次に廃棄物の再使用（リユース）、その後に廃棄物の再生利用（リサイクル）を行います。また、特に優先度の高い2R（発生・排出抑制、再使用）に取り組むことで、リサイクル意識の向上につなげ、ごみの排出抑制を図ります。

■ 最新設備により貢献

焼却施設にバイオガス化施設を併設するハイブリッド方式とし、本来エネルギー回収が困難である低カロリーのごみ等からエネルギーを回収するなど、単に焼却するのではなく、施設の特徴を活かした総合的廃棄物処理システムを構築し、地域の豊富な再生可能エネルギーのポテンシャルを最大限に引き出し、より効率的に廃棄物からの再生可能エネルギーとして、資源の有効活用に努め、脱炭素社会の実現に向け貢献します。

具体的な取組

1. 排出抑制の啓発を行います。

ごみになるものは、作らない・売らない・買わないことがごみの発生を抑制することであり、あらゆる機会と場所を利用し市民・事業者に対してごみの発生抑制に対する意識の啓発を行います。

2. 環境型社会形成に貢献できる施設を目指しています。

ごみ処理により発生する熱エネルギーを効率的に最大限有効活用し、脱炭素社会や環境型社会の構築に貢献できる施設の建設を進めています。

3. ハイブリッド方式によるCO₂の大幅な削減を図ります。

熱回収施設はバイオガス化施設を併設することにより、ごみ等を発酵させ、メタンガスとしてより効率的にエネルギーを回収し、CO₂の大幅な削減、環境負荷の低減を図ります。

4. 資源の有効活用をしています。

熱回収施設から得られた電力は、各施設内の電力として使用し、余剰電力は売電や、他の公共施設等へ供給、非常時の電力供給を行い、次世代へつなげる利活用を考慮したエネルギーの地産地消を進めます。

☆家庭でできる温暖化対策

身近なことから
始めてみましょう！
家計の節約にも
つながります。

- 例えば
- 炊飯器やポットの保温を控える
 - 冷蔵庫の設定温度を季節に合わせて調節する
 - 3倍の長尺のトイレトーパーに変えてみる
 - プラごみを出さないようにマイバック持参する
 - ばら売りや量り売りで購入し、食品トレイを削減する
 - 照明はこまめに消し、LEDと交換する
 - エコカーの利用

